

こんにちは

# 会社訪問記

人と自然のやさしい環境づくりに、  
全力を上げて取り組んでいます。

## 大府衛生株式会社

(愛知県大府市)

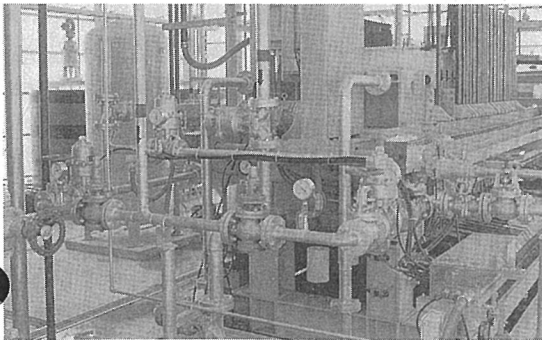
昭和32年創業以来、さまざまな分野の廃棄物処理を行っていらっしゃる大府衛生株式会社。大府市の本社に相木社長、藤井廃棄物事業部長をお訪ねし、お話を伺いました。

—県内に幅広く営業所をお持ちのようですね。

相木社長(以下相木に略)『はい。西は稲沢市から東は豊橋市まで、合計10カ所に営業所があります。』

—取扱い品目を教えていただけませんか。

相木『産業廃棄物関係では、ほとんどの品目を扱っています。他に、一般廃棄物処理、ビル管理清掃、都市環境清掃整備、工業環境清掃整備なども行っています。お得意先には官公庁、民間企業を問わず幅広くご用命いただいていますね。』



中間処理施設

—産業廃棄物処理については特にどんなことに力を入れていらっしゃいますか。

相木『当社では、収集から最終処分まで一貫体制で業務を行っていますが、廃棄物の減量化には特に力点を置いています。現在、知多郡東浦町に焼却施設、汚水処理施設、破碎施設を、豊橋市に汚水処理施設、廃酸廃アルカリ汚泥中間処理施設を所有。特に廃酸廃アルカリ汚泥などは、さまざまな化学処理を必要とするため、中和、洗浄、脱水には細心の注意を払い安全に処理をしています。』

—では少し質問をかえて、御社の経営指針を教えてくださいませんか。

相木『創業から現在まで、当社は常にとどまるこ

となく各種廃棄物処理技術やそれに伴うサービスの向上を心がけてまいりました。地球環境の保全に微力ながらも貢献できれば幸い、と考えております。』

—従業員は現在何名いらっしゃいますか。

相木『210名です。』

—従業員教育に対しては、どのようなことを行っているのでしょうか。

藤井廃棄物事業部長(以下藤井に略)『大府市内に“桃山荘”という研修施設を持ち、社員研修などを行っています。』

相木『研修及びOJTは、講師を招いたり、各事業部単位では月に1~2回程度を定期的に行わせたりし、知識習得の機会を多く設けるように努めています。』

—最後に、今後の計画や展望などをお聞かせいただけますか。

藤井『現在、汚泥と廃油の焼却施設の設置を計画中で、実現に向けて全力を尽くしている次第です。』

相木『やはり、今後は中間処理施設の有無がキーワードになると思います。適正処理、リサイクル推進の観点から、さらに施設・技術の充実化を図り、人と自然にやさしい環境づくりに努めていきたいですね。』

リサイクルにも積極的に取り組んでいきたいとおっしゃる相木社長と藤井廃棄物事業部長。これからも、その前向きな姿勢でがんばってください。



相木社長



社名/大府衛生株式会社 所在地/愛知県大府市北崎町駒場88番地

代表者/相木邦昭 創立/昭和32年 従業員/210名

TEL/0562(47)0535 事業所/本社、10営業所、中間処理施設

営業種別/収集運搬、中間処分、埋立て処分

取扱い品目/燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉋さい、建設廃材、ダスト類